

修正箇所一覧(第6回定例会での御意見等を受けて)

	箇所	修正後	修正前
1	p.6,13	第Ⅱ章及び第Ⅲ章のタイトルから「(提言)」を削除	第Ⅱ章及び第Ⅲ章のタイトル末尾に「(提言)」あり
2	p.7 5～6行目	利用者にとって居心地が良いと感じられる空間にする工夫も求められる。そのためには	椅子、机等の各種什器の導入に際しては
3	p.7 下から12行目	関わりが少ない	無関係な
4	p.7 下から3～4行目	都立図書館のサービスや情報資源の利用に結びつくような取組が今後求められる。	図書館の情報資源を用いない利用者に対する方針を確定しておく必要がある。
5	p.9 事例2	「open2study」が利用できなくなったため、削除	ビクトリア州立図書館の「open2study」に関する事例
6	p.10 4行目	校長以下教職員と都立図書館が連携しつつ	司書教諭や学校司書を中心とした学校図書館関係者と連携しつつ
7	p.10 7～8行目	(追加)その際は、学校はもとより、保護者や地域のニーズを踏まえた内容となるよう留意する。	-
8	p.16 7～10行目	それらに容易に至ることを可能とするデザインが求められる。また、「見ているとワクワクする」、「都立図書館へ行ったら面白いかもしれない」と感じさせる、すなわち広く人の心に「届く」「伝わる」デザインとすることが肝要である。	それらに容易に至ることのできる、すなわち広く人に「届く」「伝わる」デザインにすることが肝要である。
9	p.21 1～3行目	別表としてまとめた。最後に、将来にわたって必要とされる図書館であり続けるために、今後何が求められるか考えてみたい。	別表にその実施の時期別に提言案をまとめた。最後に、より長期的な観点から、都立図書館の今後について考えてみたい。
10	p.21 下から12行目	存在意義	存在意義(ミッション)
11	p.21 下から1～2行目	環境の変化に対応して、サービス・運営を再構築する積極的な姿勢が求められる。	多様な利用形態に応じた魅力的なサービスを提供するため、自らに課せられたミッションを環境に合わせて柔軟にアレンジしていく積極的な姿勢が求められる。
12	p.22	(追加)なお、本提言をまとめていく中で、次のような点にも議論が及んだ。災害時の公共施設としての対応策の強化、高齢者や若年層等の多様な利用者に焦点をあてたサービス、ビジュアルな資料(雑誌やコミック等)を活用して幅広い利用者を誘引するための取組などである。こうした点については、本図書館協議会では十分に検討することができなかつたため、最後にこのことを記し、都立図書館が今後の課題を考える際の参考とされることを期待する。	-
13	別表の標題	取組事項一覧	検討事項一覧